

令和3事業年度決算の概要

独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構

Japan Expressway Holding and Debt Repayment Agency

トピックス ～損益の状況～

1. 経常収益 1兆7,800億円（前年比+1,241億円）

- 各高速道路会社からの道路資産貸付料収入は1兆7,477億円（前年比+1,255億円）となりました。

2. 経常費用 1兆4,376億円（前年比+294億円）

- 道路資産貸付業務費は、資産の減価償却費の増加等により、1兆1,115億円（前年比+247億円）となりました。
- 財務費用は、現下の低金利状況を活かした資金調達を行ったことにより2,556億円（前年比▲75億円）となりました。

3. 経常利益 3,423億円（前年比+947億円）

- 道路資産貸付料収入の増加等により経常利益は増加しました。
- 新型コロナウイルス感染症の影響が緩和したことにより、各高速道路会社の交通量が昨年度に比べ増加となり、料金収入が増加しました。

トピックス ～資産・負債の状況～

4. 資産総額 43兆5,749億円（前年比▲7,556億円）

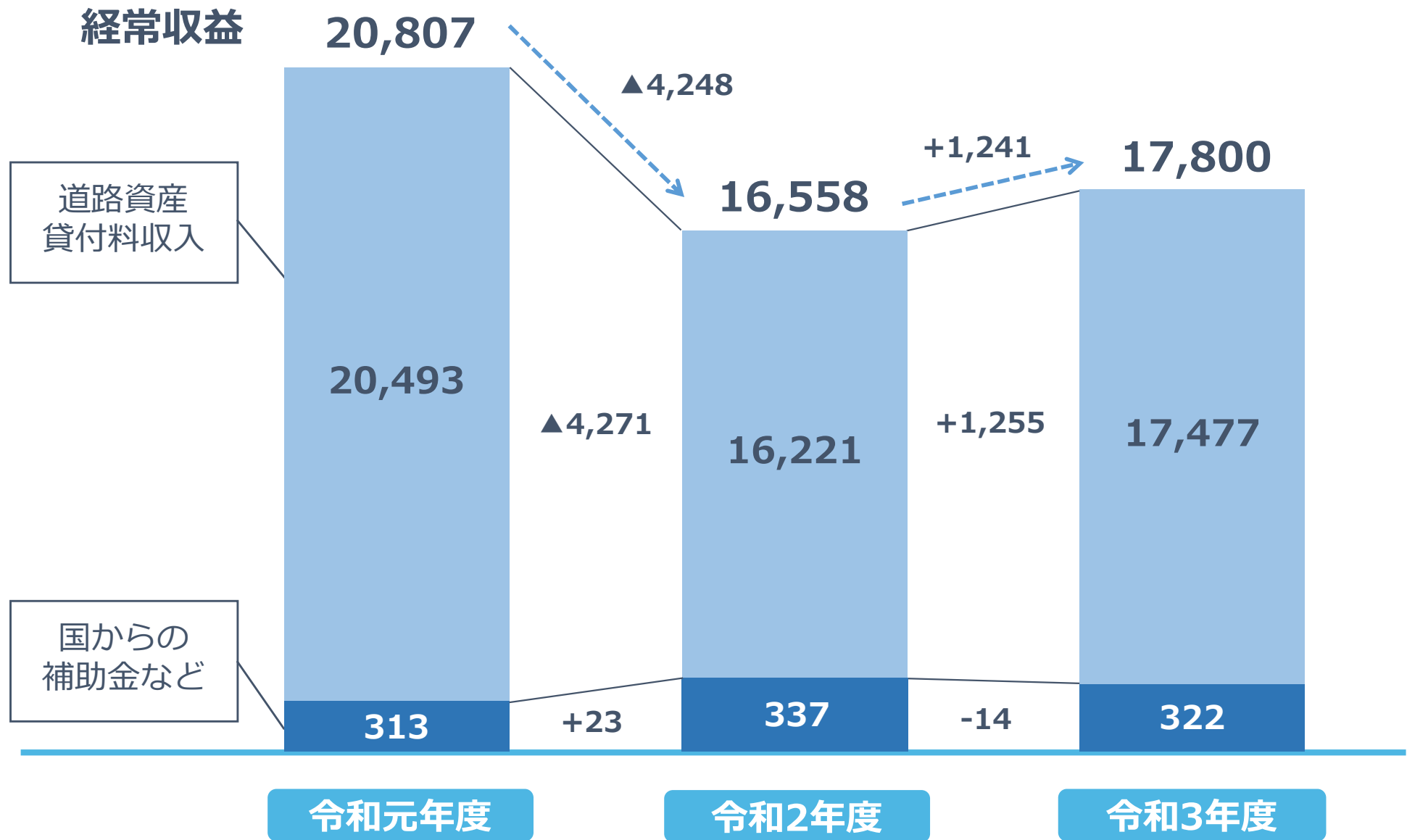
- 流動資産は、財政融資資金8,000億円を借入れたこと等により2兆507億円（前年比▲7,976億円）となりました。
- 固定資産は、近畿自動車道伊勢線（名古屋西～飛島）の開通等があり、41兆5,242億円（前年比+419億円）となりました。

5. 負債総額 29兆3,080億円（前年比▲11,199億円）

- 負債は、財政融資資金の借入れにより増加した一方、機構債の償還等により減少しました。
- これらを踏まえた上で、債務の確実な返済を確認しています。

経常収益の前年比較

(単位：億円)



経常利益と経常費用の前年比較

(単位：億円)

経常利益

6,785

▲4,309

2,476

+947

3,423

経常費用

14,021

+61

14,082

+294

14,376

道路資産
貸付業務費
(減価償却費など)

10,587

+280

10,867

+247

11,115

財務費用
(利息など)

道路資産取得関
連費用等
(道路建設時に要した
各高速道路会社の
人件費など)

2,813

▲180

2,632

▲75

2,556

620

▲38

582

+122

704

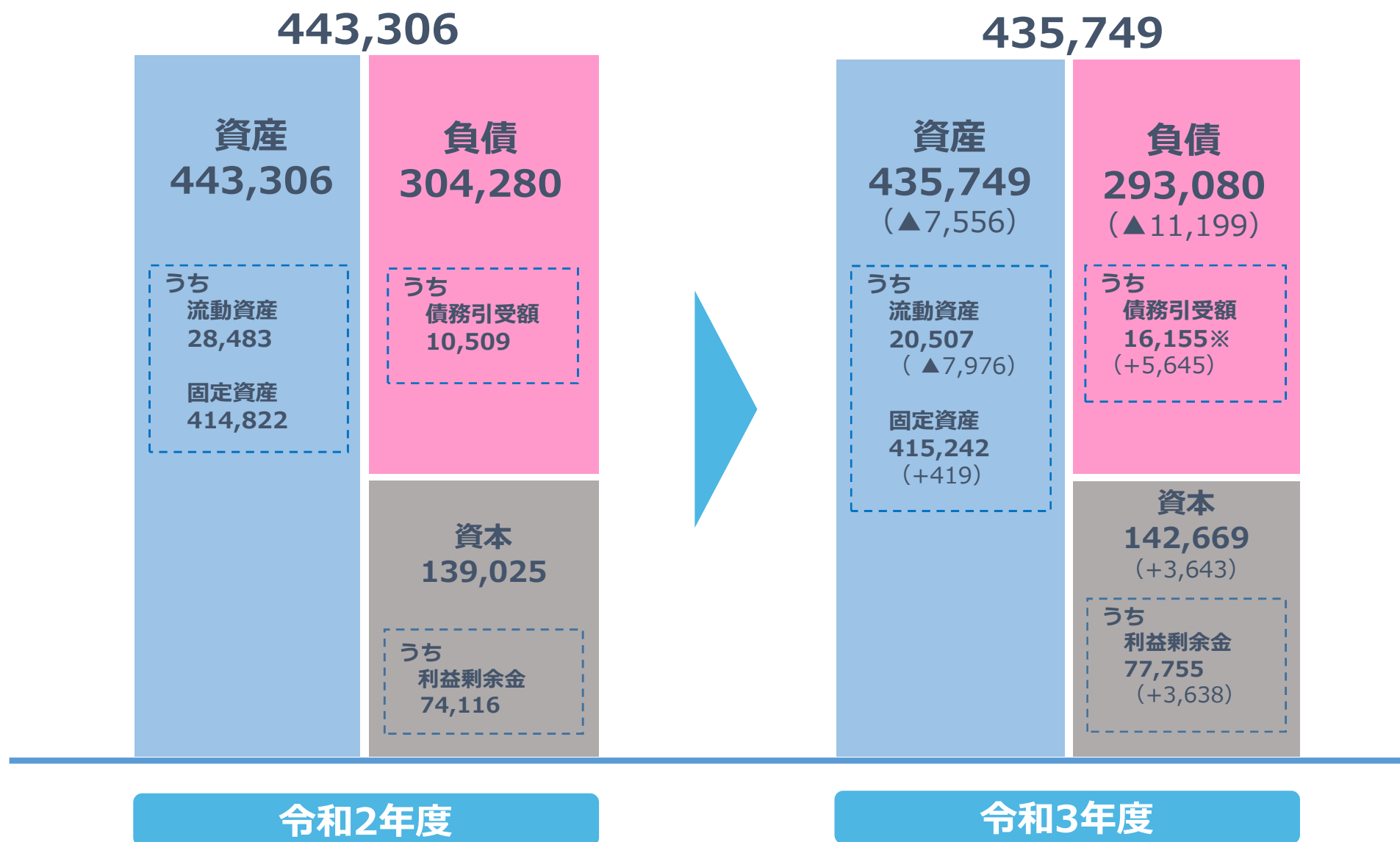
令和元年度

令和2年度

令和3年度

貸借対照表の前年比較

(単位：億円)



※金額は、法人単位財務諸表（PDF）の
長期借入金及び機構債の明細（20ページ目）に掲載しています。

独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構
Japan Expressway Holding and Debt Repayment Agency